



主な観光コース

A 杉並木観光コース 徒歩約2時間コース

市縁ひろば ■ 杉並木入口 ■ 滝尾神社 ■ 浄水場

●今市宿

高麗神社 ■ 一里塚 ■ 芋の木杉 ■ 名主屋敷

●今市線香工場発祥の地 ●戊辰戦争の戦場

報徳仕法農家 ■ 分水筒 ■ 大水車 ■ 日本の水車

●報徳塾 ●今市用水円筒 ●日光・高原連峰の説明

植物園 ■ 日本庭園 ■ 世界の水車 ■ 唐人小屋跡地

杉並木公園ギャラリー ■ 市縁ひろば

B 市街地観光コース 徒歩約2時間コース

市縁ひろば ■ 杉並木入口 ■ 滝尾神社 ■ [御米蔵跡地 →

●今市宿

報徳振興会館 → 二宮堀] 浄泉寺 ■ 回向庵

●戊辰戦争戦死者の墓
●日光円蔵の墓

如来寺 ■ 二宮神社 ■ 追分地藏尊 ■ 酒蔵

●日光連山の説明 ●報徳塾

市縁ひろば

トイレの所在地です。

日光方面の
観光ガイド

●予約承ります●

日光の社寺周辺コース
奥日光(中禅寺、戦場ヶ原、湯元方面)コース

※詳しくは、日光市シルバー人材センターにお問い合わせください。

ようこそ日光世界遺産のゲートタウンへ



日光街道
ニコニコ本陣

杉並木観光ガイド事業

(公社)日光市シルバー人材センター

『歴史とロマンを秘めた杉並木のまち』日光市で世界に誇る杉並木と、その街道筋の由緒ある名所・史跡を訪れる観光客の皆様へ、日光市シルバー人材センターの会員がご案内いたします。

主な観光コース

A : 杉並木観光コース

B : 市街地観光コース

(その他ご希望を伺いご案内いたします)

ガイド料金

1,100円(1時間以内)

2,200円(2時間以内)

3,300円(3時間以内)

ご案内人数が20名を超えた時は、20名に対しガイド1名とします。

所要時間

Aコース・Bコースとも約2時間

(その他ご希望の時間でご案内いたします)

申込方法

電話又はFAXでご予約ください。

(1週間前までにお願ひします)

お申し込み・お問い合わせは

公益社団法人

日光市シルバー人材センター

〒321-1261 栃木県日光市今市1659番地10 日光市生きがいセンター内
☎0288-22-5168 FAX 0288-22-5167



歴史とロマンを秘めた

日光杉並木

観光ガイド



公益社団法人

日光市シルバー人材センター



① 今市宿「市縁ひろば」

警察署の跡地を利用して今村7軒の小さな集落の今市宿場町を再現するために作られたイベント広場です。



② 日光杉並木街道

わが国で唯一「特別史跡」「特別天然記念物」の二重指定を受けている貴重な文化遺産です。例幣使・会津西・日光の3街道から成り、樹齢380年超の杉並木が37kmにわたって現存しています。



③ 滝尾神社

約1,200年前、日光開山の祖・勝道上人が日光山に滝尾神社を創設した頃、この地に里宮として祀られたと伝えられています。また、今市の名の由来となりました。「市神様」が祀られています。



④ 杉並木公園

杉並木街道の保護と地域の文化を伝承するために作られました。江戸時代の名主屋敷や報徳仕法農家が建てられています。



⑤ 報徳仕法農家

江戸時代の末、二宮尊徳の報徳仕法により建てられた一般的な農家を原寸で再現されたものです。



⑥ 名主屋敷

江戸時代の世襲名主をつとめた旧家を移築したもので、増改築のまったくない当時そのままを残す貴重な建築物です。



⑦ 杉並木公園ギャラリー

東武上今市駅とギャラリーが併設された水車のある杉材をふんだんに使った建物で、市民の文化・芸術活動の場として、多くの方に利用されています。



⑧ 水車

杉並木公園内に14基設置されています。この地方の特産品でもあります杉線香製造の動力源として使用されていた水車をはじめ国内の水車のほか、世界の水車が並設されています。



⑨ 浄泉寺

浄泉寺は戦国時代に創建のお寺です。本尊は薬師如来で、脇侍として運慶作と伝えられている、日光、月光十二神将が祀られ、目の病を治す願をかけ絵馬は奉納されています。



⑩ 如来寺

室町時代中期の創建で、徳川家ともゆかりのある名刹です。また、二宮尊徳先生の葬儀も行われました。



⑪ 回向庵

江戸時代に如来時の僧侶の住居として建てられたもので、現在は墓地になっており、戊辰戦争の土佐・佐賀藩の戦死者の墓や、俠客の日光円蔵の墓もあります。



⑫ 報徳二宮神社

二宮尊徳先生の徳を偲び、明治31年(1898年)の創建された神社です。境内の墓地には、松島十湖句碑が残されており、昭和24年に県と市の文化財に指定されています。



⑬ 二宮尊徳像

二宮尊徳(1787~1856)は、小田原市栢山村の農家に生まれ、幼少の頃父母と死別するも、くじけることなく懸命に働き、23才にて家の再興を成し遂げ、人々からその偉業を賞賛されました。

薪を背負い本を読む立像は、その頃の金次郎をイメージして作られたものです。後に、幕府の役人となり、日光御神領の復興に力を尽くし、晩年、今市の報徳役所にて70歳の生涯を閉じました。



⑭ 追分地藏尊

日光杉並木と例幣使街道の分岐点に祀られていることから、この名がつけました。3m近い座像石地藏尊は弘法大師が日光含満ヶ淵に建立したのが台風で流され、この地についたのをこの場所に安置されたといわれています。北関東一の大きさということで、市の文化財に指定されています。



⑮ 歴史民俗資料館

別名、杉並木資料館とも呼ばれ、日光杉並木に関する資料を中心に展示されています。また、市の内外に現存する考古・歴史・民俗等の資料を収集、保存しています。

